

山佐木材 株式会社

(木材・木製品製造業(家具を除く))

(肝付町)

国産材(スギ・ヒノキ)を主体に商品群を揃え、徹底した品質管理のもと、製材から集成材・CLTの製造を行い、大規模木造、木質構造物の加工建方まで取り組んでいます。

近年急速に進化する木造建築、特に中高層建築物への木材使用を普及するため、山佐木材は、製材から木工事の施工に携わる中で培った木質材料のエンジニアリング企業として、お客様の想定される建築物に対して、いかに木材を適用していくかの試験研究や開発段階からのご提案を通して納得頂ける製品創りに努めてまいります。また、自社開発としてもこれまでにない材料とのコラボレーションを模索し、最近まで木造化が困難であった建築物の木造化の推進に貢献していきます。



会社全景

会社概要

2024年2月現在

■所在地

〒893-1206

鹿児島県肝属郡肝付町

前田2090

■TEL

0994-31-4141

■FAX

0994-31-4142

■E-Mail

y-soumu@woodist.co.jp

■URL

<http://www.woodist.co.jp>

■代表者

代表取締役社長

有馬 宏美

■設立

1948年(昭和54年)4月13日

■資本金

4,000万円

■従業員数

101人

■事業概要

集成材・CLT等の製造・加工、大型木造建築の設計施工

■主要製品

製材品、集成材、CLTなどのJAS製品

CLT床2時間耐火構造認定取得

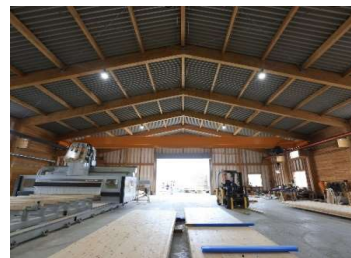
山佐木材は、林野庁委託事業にて各種確認試験を実施、2016年5月、国交省より、CLT床2時間耐火構造の認定を取得しました。これにより耐火構造が求められる非住宅・中大規模建物の床に木造、鉄骨を問わずCLTを使用することが可能となりました。山佐木材は「超高層ビルに木材を使用する研究会」の設立に関わり、事務局、会員として「鋼構造オフィスビル床のCLT化」というテーマで現在も研究開発を推し進めております。松尾建設(株)様は、地球環境改善には欠かせない低炭素社会実現の一役を担う試みとして、5階建ての自社ビルの床に認定後初の2時間耐火CLT210mm厚を使用され、環境保護に積極的な企業としての取り組みを実施されました。(写真提供: 松尾建設(株))



松尾建設株式会社 本店

SAMURAI(鉄筋補強集成材)の開発

山佐木材は、鹿児島大学の塩屋晋一教授との共同研究により、鉄筋で補強(鉄筋を内蔵)したスギ集成材「SAMURAI」の開発を進めています。鉄筋により一般の集成材に対して強度が6倍、梁せいを55%小さくすることができるため、大空間の有効活用と長大スパンを木材にて実現できる製品となっています。また、本技術や製品を都市高層ビルにご活用いただくとともに、今後さらなる木造建築発展のため、お客様がお持ちの技術との融合等により、本技術の可能性を研究・開発して参ります。



SAMURAI集成材による工場棟



施工例: みやこ下地島空港 ターミナル

写真提供: 三菱地所



施工例: 由布市ツリストインフォメーションセンター

写真提供: (株)坂茂設計



施工例: 新竹漁港観光拠点施設

写真提供: 新竹市政府